

## エピソード57

友達がいらないのでは…と心配  
する保護者がいます。



なみちゃん

小学校教師として25年以上の経験  
があります。エデュサポネットのファ  
シリテーターです。



中学年のクラスを受け持ったときの  
経験をお聞きします。

なおお子さんはおとなしく、真面目で、  
学習もきちんと取り組んでいる問題のない  
お子さんのお母さんとの経験をお話します。



お母さんは、個人懇談で、「友達がない」の  
ではないかと心配していました。



先生から見ると、心配のない  
子どもだったんですね。

はい、たしかに、本が好きでいつも  
傍らに本を置き休み時間もよんでいる  
ことはありましたが、

授業中や掃除当番、係り活動では、特に  
一人という印象もなく、普通に協力しながら  
仕事をしているので友達がいらないという  
ようには見えませんでした。





お母さんが心配していることをもう少し聞かせてもらえますか。

お母さんは、自分は仲良しの友達がいる、放課後や学校でもよく遊んでいた。子どもはそれが普通だと思っていた、といいます。

本が好きなのはよいが、本ばかりで友達の話がでないのは心配だということです。





先生はお母さんになにか  
お話をしましたか。

学校では係り活動や当番活動、学習でも友達と  
よく協力して活動しているし、中休みもみんな  
で、遊ぼうと誘うと楽しく遊んでいる…

でも、なお子さんの心に寄り添いながら  
いろんな友達と関われるようにしていくと  
約束しました。





その後のなお子さんの様子は  
いかがでしたか。

なお子さんの様子を見ながら、それとなく話を聞くと、特に友達がいらないと思っ  
てはいないし、本が好きで一人で読んでいることは好きだけど、友達と一緒に遊びた  
くないわけではないので、一緒に遊んでもよいということでした。それで、一緒に遊  
ぼうと声かけてみることにしました。





それから、お母さんとどのようにかかわりましたか。

学習でもそれ以外の生活でも協力してよくできていることを機会があると報告して安心してもらえるように関わりました。学校での様子は心配なく、担任が大丈夫と思っていることが安心につながってきているようでした。



どの親も自分の子について心配事がありそれを聞いていくことが信頼関係になると感じました。



## なみちちゃんの一言

- 教師が心配ないと考えても、保護者にとっては子どもについて心配なことがあります。その時は、保護者の気持ちを大切に、丁寧に子どもの様子を見ていくことを伝えましょう。
- そして、教師が見取った子どもの様子を伝え、保護者の不安、心配が少なくなるかを確認しましょう。他の先生から見た子どもの様子を伝えてもいいかもしれません。
- 保護者の心配が続くようであれば、学年の先生に相談し、保護者にスクールカウンセラーとの面談をすすめてみましょう。

お・し・ま・い



イラスト 尾上樹里  
(北海道教育大学 大学院生)